

令和3年度 新潟県看護協会東支部 定期通信 Vol.2



『認知症患者の理解を深める』
～患者と共に楽しく接するために～

講師 医療法人新成医会
総合リハビリテーションセンターみどり病院
認知症看護認定看護師 志賀 木綿子 先生

介護老人保健施設 緑樹苑
副看護師長 佐野 美代子 先生

令和4年2月3日(木) 新潟ユニゾンプラザにて、
令和3年度新潟県看護協会東支部 講演会を
開催しました。オンライン配信で行い、無事に
終了いたしました。

日本の平均寿命が30年間で約5年以上伸びており、高齢者人口が増加すると同時に長寿化も進んでいます。2020年度の65歳以上の6人に1人が認知症と診断されており、認知症の最大のリスクは、加齢であることから、だれもが認知症になりうる。他人事ではないと言えます。

今回の講師の先生より、認知症の基本的な知識や捉え方、対応の仕方など、実際の事例を交えてご講演頂きました。認知症の方から学ぶこと、周囲の人や社会がその人のありのままを受け入れることの大切さを学ぶことができました。

またICTを活用して、介護現場の安全性の確保や業務の能率化を図り、業務負担を減れば、ケアの質を向上させることができることを眠りSCANを導入した現場からお話頂きました。

認知症になっても、皆が笑顔で過ごせる社会を目指したいと、改めて感じた講演会となりました。